

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間： 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立のびやか健康館	
(2) 施設の設置目的	
市民に運動をする場及びやすらぎの場を提供し、もって市民の心身の健康増進を図るとともに、市民の豊かな生活の向上に資するため	
(3) 所管部局	
環境局 環境事業部 環境事業管理課	
(4) 指定管理者名	
株式会社COSPAウエルネス	
(5) 指定期間	
平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
・ スポーツ施設・温浴施設の管理・運営 ・ スポーツ教室の経営 ・ スポーツ用具・用品の販売及びレンタル ・ 上記に附帯又は関連する一切の業務	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
スポーツ・レクリエーション施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
「NASなかもず」、「エニタイムフィットネス近隣9店舗」「美原総合スポーツセンター」、「コスパ近隣2店舗」、「JOYFIT24近隣2店舗」等	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	利用者数が増える中、計画どおりに安全研修を着実に実施し安全意識の維持に努めた。またマシン、ロッカー内の備品など経年劣化や不具合チェックも定期的の実施した。個人情報においては、管理する情報を見直し、メールをシステム上で返信できるようし、誤送信を防ぎ管理上のリスクを減らした。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	人員配置は、協定書の体制を維持しながら、利用者の多い時間帯等に柔軟に配置を変え、ジムスタッフがフロントで簡易的な対応ができるように工夫を行った。施設の維持管理では、休館日を中心に基本点検以外に、スタッフがお客様目線で施設を利用し、不具合箇所の洗い出しに努めた。また、令和4年度同様に清掃スタッフにも協力頂き、清掃時に水回りや空調等、不具合の発見に努めた。
施設の設置目的に沿った事業の実施	新たなカルチャー教室導入や、既存教室のクラス増設など、利用者のニーズに合わせて定員を増やすなど受け入れを行った。また、一時利用者で、はじめて利用する方に対して、無線で各スタッフへ伝達しフォローを行った。地域のより多くの方へ、施設を利用いただけるようにカルチャーの無料体験や、期間限定半額チケット等の販促施策を行い新規獲得に努めた。
その他特筆すべき取組	高齢者向けの声磨き教室（誤嚥性肺炎対策、飲み込む力の維持）をイベントで開催、百貨店スイーツの移動販売、また子供向け防犯セミナーを実施した。

イ 市による状況分析

- ・安全対策の研修や消防訓練等計画どおりに実施し、日頃から安全確保へ取り組んでいる。個人情報の保護においては、事務処理誤りが発生したが、その後は対策を講じリスク低減を行った。
- ・担当エリア以外も対応できるように人材育成が行われた。施設の維持管理も様々な人・視点で行われていた。
- ・高齢者向けの健康増進につながるイベントを実施するなど施設の設置目的に沿った事業を実施している。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定管理者名	株式会社オー ジースポーツ	株式会社オー ジースポーツ	株式会社COSPAウ エルネス(令和4年7 月から株式会社 オージースポーツ より社名変更)	株式会社 COSPAウエル ネス	株式会社 COSPAウエル ネス
利用者数(単位:人)	348,490	304,028	407,129	448,541	—
稼働率(単位:%)	56.9	52.8	47.9	44.8	—
利用者満足度(単位:%)	74.4	77.8	75.6	75.7	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進、自主事業	ジムスタッフをフロントナビゲーションとして配置したことで、フロントでトレーニングの説明が可能となり、見学者や体験者からの定期利用の登録につながった。また、複数受講(スイミングとサッカー、パパママ会員)の割引について、PRを強化したことで参加者数も増加となった。休憩スペースに椅子とテーブルを増設し、充実を図ることで利用者や送迎の保護者へ、満足度の向上に努めた。
意見・苦情・要望等への対応	ご意見BOXでの回答は継続し実施、フロントやジムでのご意見に対しても明確に状況説明を行った。WEBでのご意見や問い合わせも2日以内の返答を基本とし、実施できた。
その他特筆すべき取組	ホームページ、デジタルサイネージ、メール配信、館内掲示を活用し、幅広い年齢の方へ情報配信を行った。スイミングでは参観日を設け、保護者がプールサイドで見学できる時間を設けた。

ウ 市による状況分析

- ・教室内容等を工夫したり、新規利用者へのフォローを手厚くするなど、新規利用者及び定期利用者の確保に努めた。
- ・利用者特性を加味し、さまざまな情報発信方法を行った。問い合わせ等にも早急な対応、説明を実施することにより、利用者満足度の向上が図られている。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【参考】令和5年度(予算)
指定管理者名		株式会社オー ジースポーツ	株式会社オー ジースポーツ	株式会社COSPAウ エルネス(令和4年7 月から株式会社 オージースポーツ より社名変更)	株式会社 COSPAウエル ネス	株式会社 COSPAウエル ネス
収入	指定管理料	0	0	0	0	0
	利用料金	172,605,901	154,410,651	210,738,999	237,786,550	232,930,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	140,254,253	133,138,255	86,049,000	85,922,000	82,110,000
合 計		312,860,154	287,548,906	296,787,999	323,708,550	315,040,000
支出	人件費	107,829,058	89,585,273	98,042,636	103,863,915	100,964,000
	委託料	62,697,450	63,123,588	65,494,779	64,805,285	67,101,000
	総支出額に占める 委託料の割合	18.5%	22.8%	20.3%	18.6%	19.7%
	修繕費	20,135,903	8,860,797	14,469,043	13,931,414	12,192,000
	光熱水費	90,142,450	79,794,422	100,126,628	115,080,013	111,506,000
	その他	57,637,490	35,749,897	44,615,725	50,944,699	48,364,000
合 計		338,442,351	277,113,977	322,748,811	348,625,326	340,127,000
収支差額		-25,582,197	10,434,929	-25,960,812	-24,916,776	-25,087,000
(市への納付金の額)		3,240,000	3,240,000	3,240,000	3,240,000	3,240,000
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【参考】令和5年度(予算)
収 入		117,806,950	123,661,302	160,792,377	175,184,940	178,270,000
支 出		136,627,402	123,201,820	154,148,176	157,701,659	160,770,000
収支差額		-18,820,452	459,482	6,644,201	17,483,281	17,500,000
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務等	・委託費(設備管理費)では、突発的な不具合についての初期対応をスタッフがを行い、設備の不要な時間外対応を削減した。また、清掃費においても巡回清掃で、スタッフが安全確認を兼ね、巡回しながら清掃を行い、清掃の負担を削減した。事務処理では、請求書等のWEB(BtoBシステム)に移行する事で、作業の効率化を行った。 ・その他収入に堺市光熱費高騰に伴う指定管理者管理運営継続支援金3,812,000円を含む。
-------------	---

ウ 市による状況分析

・利用者数が全体で令和4年度比約10%増加したが、人件費や物価の高騰の影響を受けて支出額も増加し、指定事業の収支は令和4年度に引き続き赤字となった。 ・収支改善のため経費の削減を図っている中でも、修繕費等の施設維持管理に必要な支出については、計画値を上回る額の修繕を行っている。
--

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
有責事故発生件数	0件	0件

■利用者サービスの向上

指標	目標	実績
スポーツ教室事業参加者数	前年度比2%増(73,304人)	前年度比5%増(75,682人)

■収支

指標	目標	実績
利用料金収入	各年度392,000千円以上	319,897千円

イ 市による状況分析

・施設内の安全対策について、必要に応じた対策を実施しており、有責でない事故が発生した際にも迅速かつ適切に対応できている。

・スポーツ教室事業参加者数について、体験会を実施するなどの効果が表れ、スイミングスクールとサッカースクールの増加数が大きく、全体の増加率に寄与している。

・利用料金収入について、一時利用、定期利用会員は増加傾向で推移しているが、レンタル施設については施設予約システムを導入し、一部稼働率が上昇した施設もあるが、レンタル施設全体としては大幅な稼働率上昇にはつながっておらず課題が残っている。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	予定していた新規導入の教室や、各種入会キャンペーンによって、定期利用者、カルチャー教室等の在籍数を増やす事が出来た。新たに実施した地域の保育園指導も軌道に乗り、利用者数も増加となったが、収入においては、目標に届かなかった。	・利用料金収入について、コロナ感染症の流行以前に設定した目標(392,000千円)は未達となったが、年度当初に設定した目標(315,040千円)は上回った。また、定期利用者やスクール利用者等を中心に全体で利用者数を増加させることができた。 ・あらたな自主事業も実施し、好評を得ることができていた。
今後の取組	新たなWEBサービスとして、当社のアプリを使った情報配信や、振替予約などお客様の利便性向上を目指す。また個々のニーズに合わせたイベントを実施し、新たな教室の開校等で利用者の確保を行う。設備管理では、経年劣化による設備備品の点検と改修により力を注ぎ、施設の維持管理につとめる。	次期指定期間も、利用者意見を反映し、利便性や利用者満足度を向上させるさらなる取組の実施を期待する。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの